

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 30 日  
東京電力株式会社

## < タービン建屋地下のたまり水の処理 >

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況  
[処理設備]

- ・H24/1/17 18:42 セシウム吸着装置を起動。18:45 定常流量に到達。
- ・H24/1/29 12:06 第二セシウム吸着装置を起動。12:18 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/29 21:45 ~ 1/30 8:19 移送実施
	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/30 16:05 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/29 21:50 ~ 1/30 8:23 移送実施
	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/30 16:12 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・1/30 移送予定なし
移送先		移送先の水位状況 (1/30 7:00 時点)
プロセス主建屋		水位: O.P.+ 4,259 mm(水位上昇累計:5,476 mm) 1/29 7:00 から 70 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)		水位: O.P.+ 2,244 mm(水位上昇累計:2,970 mm) 1/29 7:00 から 114 mm 下降

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/30 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (1/29 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,752 mm (1/29 7:00 から 16 mm 上昇)	O.P.+ 4,220 mm (1/29 7:00 から 1 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,085 mm (1/29 7:00 から 1 mm 上昇)	O.P.+ 3,056 mm (1/29 7:00 から 変化なし)	O.P.+ 3,223 mm (1/29 7:00 から 変化なし)
3号機	O.P.+ 3,032 mm (1/29 7:00 から 7 mm 下降)	O.P.+ 2,937 mm (1/29 7:00 から 8 mm 下降)	O.P.+ 3,242 mm (1/29 7:00 から 8 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 2,956 mm (1/29 7:00 から 23 mm 下降)	O.P.+ 2,989 mm (1/29 7:00 から 11 mm 下降)

## < 放射性物質のモニタリング >

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	1/29	8:40	ND	0.03	0.03
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	1/29	9:20	ND	0.02	0.02

・その他福島県沿岸1地点(1/29 採取分)および沖合2地点(1/28 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (1/30 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.0
2号機	循環冷却システム	運転中	12.4
3号機	循環冷却システム	運転中	12.9
4号機	循環冷却システム	二次系エアフィンクーラ停止中	27

- [1号機]・1/30 15:05 使用済燃料プール代替冷却系の過冷却防止のため、使用済燃料プールの二次系エアフィンクーラを停止(停止時温度:12 )。
- [2号機]・1/19 11:50 ~ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。
- [3号機]・1/14 15:18 ~ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。
- [4号機]・1/29 16:27 使用済燃料プール代替冷却系の過冷却防止のため、使用済燃料プールの二次系エアフィンクーラを停止(停止時温度:21 )。
- ・1/30 15:13 エアフィンクーラを起動(起動時温度:30 )

< 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (1/30 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約7.0m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:0.0 m <sup>3</sup> /h)	24.7	25.1	106.2 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約6.1 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約3.0 m <sup>3</sup> /h)	46.5	50.7	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約6.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m <sup>3</sup> /h)	43.0	52.4	101.6 kPaabs

- [1号機]・1/30 10:38 給水系からの注水量を約 5.6m<sup>3</sup>/h から約 6.5m<sup>3</sup>/h, 炉心スプレイ系からの注水量を約 0.9m<sup>3</sup>/h から 0m<sup>3</sup>/h に変更。
- ・1/30 15:50 高台炉注水ポンプの注水配管引替が完了したことから、給水系からの注水量を約 6.5m<sup>3</sup>/h から約 5.5m<sup>3</sup>/h, 炉心スプレイ系からの注水量を 0m<sup>3</sup>/h から約 1.0m<sup>3</sup>/h に変更。
- [2号機]・1/30 10:10 給水系からの注水量を約 7.0m<sup>3</sup>/h から約 6.0m<sup>3</sup>/h, 炉心スプレイ系からの注水量を約 1.8m<sup>3</sup>/h から約 3.0m<sup>3</sup>/h に変更。
- [3号機]・1/30 10:14 給水系からの注水量を約 7.1m<sup>3</sup>/h から約 6.0m<sup>3</sup>/h, 炉心スプレイ系からの注水量を約 1.9m<sup>3</sup>/h から 3.0<sup>3</sup>/h に変更。
- [4号機][5号機][6号機]・特に変化なし

< その他 >

- ・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を継続実施中。
- ・H24/1/11 ~ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。  
日々の点検結果については別途参考配布資料を参照
- ・H24/1/29 22:55 凍結が原因と思われる一連の水漏れを受けて夜間のパトロールを実施したところ、使用済燃料プール冷却装置送水ヘッド弁周りにおいて、ろ過水の凍結を確認。当該箇所については、凍結防止のため通水を行っていたが、設備の損傷を防ぐため、投光器を設置し、加温することで状態の改善を実施。
- H24/1/30 6:25 朝のパトロールを開始し、当該箇所の通水を確認。  
なお、新規に確認した水漏れは下記の通り  
蒸発濃縮装置3Bシール水冷却器出口ラインフランジ部(1月29日午後6時20分頃発見)  
(ろ過水 :約30リットル)  
常用高台炉注ポンプ(A)系最小循環配管フランジ部(1月30日午前9時3分頃発見)  
(ろ過水 :約7~8秒に1滴程度)  
ろ過水:ダムより取水した水

以上